

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和4年9月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.56)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



頑張れ広尾っ子：応援メッセージの紹介

町民の方から、広尾っ子への「応援メッセージ」が届きましたのでご紹介します。

町内を歩いていた時に、中学生から挨拶をされたのですが、ただ挨拶をするのではなく、「こんにちは」と挨拶した後に会釈してくれました。今までも広尾の子どもたちから挨拶されていましたが、「こんにちは」と挨拶されるだけだったので、今回のように会釈を含めた挨拶をされたのは初めてでした。

うれしかったですし、礼儀やマナーを身に付けた子が広尾町でたくさん育ってほしいなと感じました。

（町内 20代 男性 9月5日受取）

広尾っ子の健やかな成長を願って！

前号で、家庭で大切にしたい子どもの役割（学校運営協議会の「熟議」より）にかかわって、家族の話し合い（家族会議）の必要性について記載させていただきました。その続きとして、今回はお手伝いの効果について考えてみたいと思います。

《お手伝いで、「家族の一員」としての意識を高めましょう》

- お願いされたり、頼られたりすると、子どもは進んで行動するようになります。
- お手伝いを継続することで、物事への根気強さや責任感が身に付きます。
- 子ども自身が考えたり、工夫したりすることで、想像力や応用力が身に付きます。
- お手伝いに慣れてくると、自分で仕事を探せるようになります。
- 家族のために役立っているという自覚ができ、自己肯定感が高まります。
- お手伝いを通して、様々な生活の知恵を学ぶことにつながります。

重点教育目標を目指した授業の紹介

今回は、広尾中学校と豊似小学校の授業の様子を紹介します。授業者の先生方は、教材研究を熱心に行い、子どもたちが主体となる授業づくりに努めています。

◇広尾中学校：8月22日、1年B組、道徳の授業より

仲間と理解し合い、協力し合って学校生活を送るために必要なことや大切なことをクラスみんなで考えました。生徒たちが、4～5人のグループを作り意見交換をしながら授業は進んでいきました。

各グループからは、「信頼すること」、「交流すること」、「助け合うこと」など大事にすべきことが、いくつも出されました。文化祭に向け、クラスの結束につながる内容でした。



◇豊似小学校：9月13日、1・2年生、国語の授業より

1年生は単元名「けんかした山」の学習で、グループで音読の練習をし、互いにアドバイスをしあうなどしました。2年生は単元名「わにのおじいさんのたからもの」の学習で、おにの子の人物像について行動の様子から考えました。

子どもたちは、真剣に先生の説明や指示を聞き、考えたり発表したりしていました。とても落ち着いて学習に取り組む子どもたちの姿が見られました。



豊似小放課後居場所づくり～楽しむ子どもたち



バオバブ（包場部）の皆さんの協力で行われている豊似小学校の放課後居場所づくりの活動は、2学期も継続しています。

参加している子どもたちは、野外での運動やゲーム、自然観察等に楽しんでいます。そこには、子どもと大人の笑顔があります。子どもたちを支える地域の皆さんの強い意欲が感じられます。

〈写真は、9月7日の活動の様子です〉